

令和5年度亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会 会議録（概要版）
（第1回会議）

1. 日時

令和5年7月31日（月） 13:30～15:00

2. 場所

亀岡市役所 別館3階 会議室

3. 会議次第

1 開会

2 新任委員紹介

3 協議事項

（1） 亀岡市いきいき長寿プラン、亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会の趣旨・概要
について

（2） 第8期亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について

（3） 第9期亀岡市いきいき長寿プランの策定について

（4） その他

4 閉会

4. 配布資料

次第

亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会委員名簿

資料1、資料2-1～3、資料3-1～3、資料3別紙

5. 出席者（敬称略）

松田 美智子（龍谷大学）、河野 秀彦（亀岡市医師会）、荻野 茂（亀岡市歯科医師会）、

高橋 依子（亀岡市社会福祉協議会）、中西 明美（亀岡市民生委員児童委員協議会）、

藤本 泉泰（（公社）亀岡市シルバー人材センター）、前淵 功（社会福祉法人 友愛会）、

小島 哉恵（亀岡ボランティア連絡協議会）、林 昭（亀岡市老人クラブ連合会）、

西田 新司（亀岡市自治会連合会）、谷奥 正憲（市民代表）、庄田 昭彦（京都府南丹広域
振興局）

※傍聴者なし

6. 主な協議内容

（事務局） 【開会】

【開会挨拶】

（事務局）

- ・ 新任委員紹介
- ・ 欠席者のお知らせ

協議事項（１）亀岡市いきいき長寿プラン、亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会の趣旨・概要について

（事務局資料説明） 【資料１】

【質疑応答等】

（委員）

- ・ 最終アウトカムの「自分が健康であると感じている人が多い」について、具体的な指標があるのか。

（事務局）

- ・ 主観的健康感で健康度をはかっており、健康状態は３年ごとに行っている「高齢者実態把握調査」ではかっている。

（委員）

- ・ 内閣府の調査と整合性をとっているか。

（事務局）

- ・ 高齢者数の増加と、後期高齢者率の増加がみられる中で、主観的健康感が下がらないようにすることを基本としている。他市町村と比べたときに亀岡市が下がっていないということは、介護予防が機能しているということをはかれるのではないか。

協議事項（２）第８期亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について

（事務局資料説明） 【資料２－１～３】

【質疑応答等】

（委員）

- ・ 各施策のプロセスの中で最も重点的なアウトカム、アウトプットに影響するのはどの辺りか。

（事務局）

- ・ 基本目標の１～４の基本的な施策に対して、各々の具体的な施策を挙げており、それぞれが重要な項目と認識している。８期を通して具体的に何が実現できなかったのか、９期でどのように重視するのかを、協議会を踏まえながら検討する。

（委員）

- ・ 高齢者の免許の自主返納における目標数値の設定はどのようにしているか。

（事務局）

- ・ 自治防災課の事業のため、数値目標の設定や事業の詳細は議事録送付の際に併せて回答する。

（委員）

- ・ １点目、６ページ「介護人材の確保・育成」における助成事業とは何か。

２点目、人材確保の助成事業の目標達成評価が実態とリンクしていないように感じる。

３点目、認定調査について、事後の点検と認定調査をされる方の確保は何か関連しているのか。

（事務局）

- ・ 1点目、介護人材確保助成事業は初任者研修や実践者研修、介護福祉士の試験等を受けたときの研修費用や、受験費用に対して補助を行っている。
- ・ 2点目、補助事業の目標を達成したと認識しているためAA評価としている。
- ・ 3点目、介護認定の人員不足については外部委託も含めて検討しており、昨年と比較して今年度は認定調査に係る日数は短くなっている。

(委員)

- ・ 1点目、介護人材確保助成事業の実績が大幅に上がっているが、就職につながったなどその後の調査は行ったか。
- ・ 2点目、5ページ「権利擁護の促進」④消費者被害対策の強化についてC評価となっているが、地域包括センターの窓口だけでなく、市民が来られるイベントなどでも積極的にチラシを置くことでAやB評価になるのではないかと感じる。

(事務局)

- ・ 圏域内で就労する方が増えることを前提としており、必ず就職することを目標とはしていない。就職者の中で、資格の補助を受けている方がいることは把握している。

(委員)

- ・ 亀岡市では、介護福祉士や保育士の資格奨学金制度は取組として行っているか。

(事務局)

- ・ 現状では資格奨学金制度はない。

(委員)

- ・ 老人クラブの会員数の減少は危機的な状況にある。個人の生き方の問題や、働く年齢が伸びていることも要因だと考えられる。

(委員)

- ・ 老人クラブという名称は、自身を老人と思いたくない方にとって抵抗があるのではないか。

(委員)

- ・ 名称変更の意見はよくあがっており、公式的には一般財団法人の老人クラブだが、クラブ単位では別の名称がある。

(会長)

- ・ なぜ退会されたのかという分析が重要ではないか。

(委員)

- ・ 亀岡市の老人クラブで集まるところに、運転免許がなければ行けないという理由もある。

協議事項(3) 第9期亀岡市いきいき長寿プラン策定について

(事務局資料説明) 【資料3-1~3、資料3別紙】

【質疑応答等】

(委員)

- ・ 介護や医療現場での人材確保とインフラの整備が重要だと思う。

(委員)

- ・ 1点目、亀岡市では、1人当たりの調整給付月額が施設居住系の給付月額が高く、在宅サービ

ス調整給付月額が低くなっているが、サービス提供に対する影響はないか。

- ・ 2点目、第1号介護保険料に対する影響はないか。
- ・ 3点目、アンケート調査では施設と在宅のどちらで介護を望む傾向があったのか、また、亀岡市として施設か在宅かの整備方向について考えがあるのか。

(事務局)

- ・ 1点目、施設等のサービスの充実によって必要なサービスニーズの充足につながったため、在宅サービスから施設系サービスへの移行が進んだと考えている。そのため、直接的に介護サービスの提供に対する影響はないと考えている。
- ・ 2点目、今後の給付状況の推移により、3年から5年程度で基金残高が枯渇することも想定される。影響については試算を進めるうえで今後精査していく。
- ・ 3点目、冊子115ページのとおり、傾向として在宅で最期を迎えたいという結果がある一方で、亀岡市では現状、居住施設系の給付の方が多くなっているため、その原因は慎重に見極める必要があると考えている。

協議事項（4）その他

(事務局)

- ・ 次回令和5年度第2回いきいき長寿プラン推進協議会は令和5年10月中旬から下旬で予定している。

(会長)

- ・ 他に質問等は、ないようなので、本日の議事はすべて終了とする。

【閉会】

(事務局)

- ・ 閉会挨拶